



京大 化学 教室

化学で未来を考えよう
～身近なものから感じる最先端の化学～

オンライン
セミナー

1

2月10日
(水)

化学と物理で
生物を知る

寺嶋 正秀
京都大学大学院
理学研究科化学専攻 教授

2

2月19日
(金)

タンパク質の形と
生命の仕組み

深井 周也
京都大学大学院
理学研究科化学専攻 教授

3

3月2日
(火)

原子をつないで
夢をかなえる化学

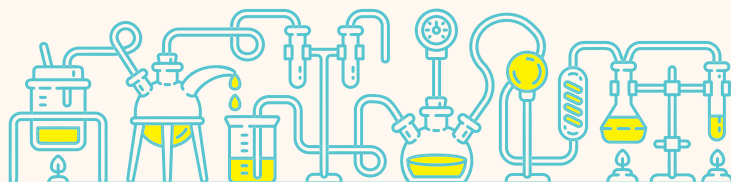
依光 英樹
京都大学大学院
理学研究科化学専攻 教授

4

3月12日
(金)

電気を流す
有機物

矢持 秀起
京都大学大学院
理学研究科化学専攻 教授



ライブ配信+見逃し録画配信

開催時間	各回:18時00分~19時30分
受講料	各回:1,100円(税込)、全4回(一括):3,960円(税込)
対象	どなたでも(専門的な内容が含まれるため高校生以上を推奨します)
申込方法	ホームページよりお申し込みください。 https://www.kyodai-original.co.jp/?p=9996
申込締切日	各回、開催日の前日 ※申込締切日を過ぎてのお申込みについては、見逃し録画配信のみご視聴いただけます。
主催	京大オリジナル株式会社
後援	京都大学大学院理学研究科化学専攻
問合せ先	京大オリジナル株式会社 ナレッジプロモーション事業部 mail▶kensyu@kyodai-original.co.jp



京大化学教室 オンライン(Zoom)開催

- パソコンなどの端末、ネット環境が必要です。
- クレジットカードで決済いただいた方には、視聴方法について開催前日までに申込時のご登録アドレスにご連絡いたします。
- kensyu@kyodai-original.co.jp からのメールを受信できるように設定してください。
- ライブ配信後、後日、オンラインサイト上で録画配信します。(視聴には申込が必要です。2021年4月末まで視聴可能)
- お支払いはクレジットカードのみとなります。その他のお支払い方法は承っておりませんので、ご了承ください。

オンライン
セミナー

京大 化学 教室

京都大学での化学に関する研究は、ノーベル化学賞受賞者を多数輩出するなど、基礎研究を中心に世界でも最先端の研究を推進してきました。「化学」の研究範囲は極めて多様であり、気体・液体・固体状態にあるすべての物質が研究対象となっています。化学は現代社会を支える物質科学の発展に中心的な役割を果たしてきました。

「京大化学教室」では、そのような化学の有する多様性を追求してきた京都大学での研究の成果と知見を、化学に深い興味をお持ちの方や学び直したいとお考えの方、自らの進路の参考にしたいという大学生や高校生の方に、お届けしようとするものです。

初回となる今回は理学研究科化学専攻の4名の先生方によるオンライン講義により実施いたします。京都大学の化学研究の多様性を感じていただくため、物理化学、生物化学、有機化学、物性化学という4つの分野での基礎研究に関する最先端の研究成果を先生方にご紹介いただきます。

1

2月10日(水) 18:00-19:30

化学と物理で生物を知る



複雑な生命機能も、すべては生体分子の関与する化学反応からなっています。ただし生体分子が巨大で複雑なため、そうした化学反応を分子論的に理解するためには、物理・化学・生物に関するいろいろな手法が必要です。本講演では、最近のタンパク質反応を調べる物理化学的手法と、分かってきたタンパク質反応のメカニズムについてご紹介します。

講師

寺嶋 正秀

京都大学大学院理学研究科化学専攻 教授

専門

生物物理化学

2

2月19日(金) 18:00-19:30

タンパク質の形と生命の仕組み



私たちの体の中には何万種類ものタンパク質が存在し、それぞれが固有のはたらきを担うことで生命が維持されています。本講演では、タンパク質の形を見て生命の仕組みを化学的に理解する研究についてご紹介します。脳や神経に関連する話題に触れる予定です。

講師

深井 周也

京都大学大学院理学研究科化学専攻 教授

専門

構造生物化学

3

3月2日(火) 18:00-19:30

原子をつないで夢をかなえる化学



化学の授業で誰もが一度は目にした周期表。この中に一つだけ特別な元素があります。炭素です。皆さんの身の回りのものの多くは炭素からできています。本講演では、炭素がいろんな原子とつながることで、多彩な物質を生み出す不思議をご紹介します。

講師

依光 英樹

京都大学大学院理学研究科化学専攻 教授

専門

有機化学

4

3月12日(金) 18:00-19:30

電気を流す有機物



有機物は電線の被服材料としても使われ、一般には電気絶縁体として知られています。一方で、スマホのタッチパネルなどで導電性のあるプラスチックも実用化されています。本講演では、導電性有機材料の科学への導入部分をご紹介します。

講師

矢持 秀起

京都大学大学院理学研究科化学専攻 教授

専門

有機物性化学